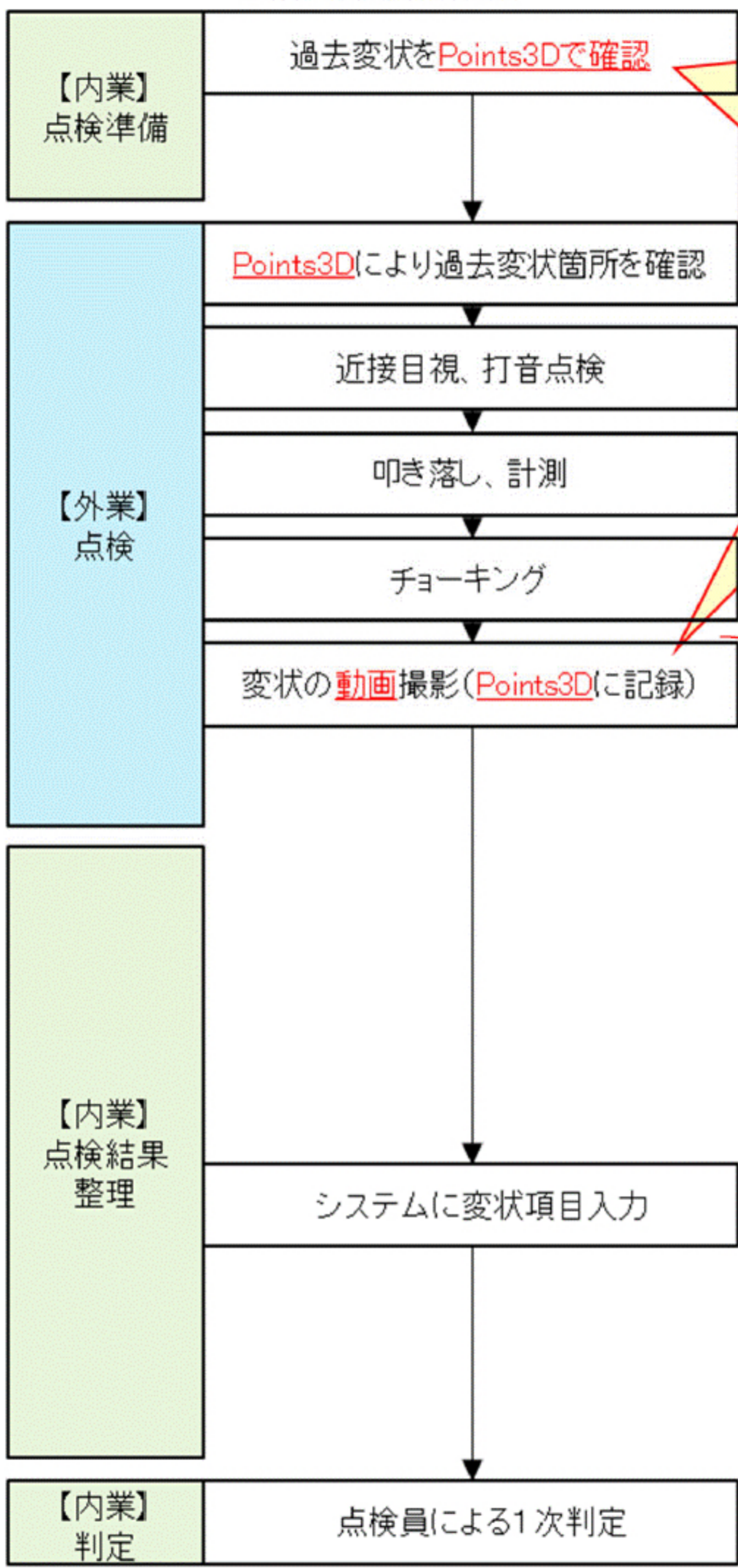
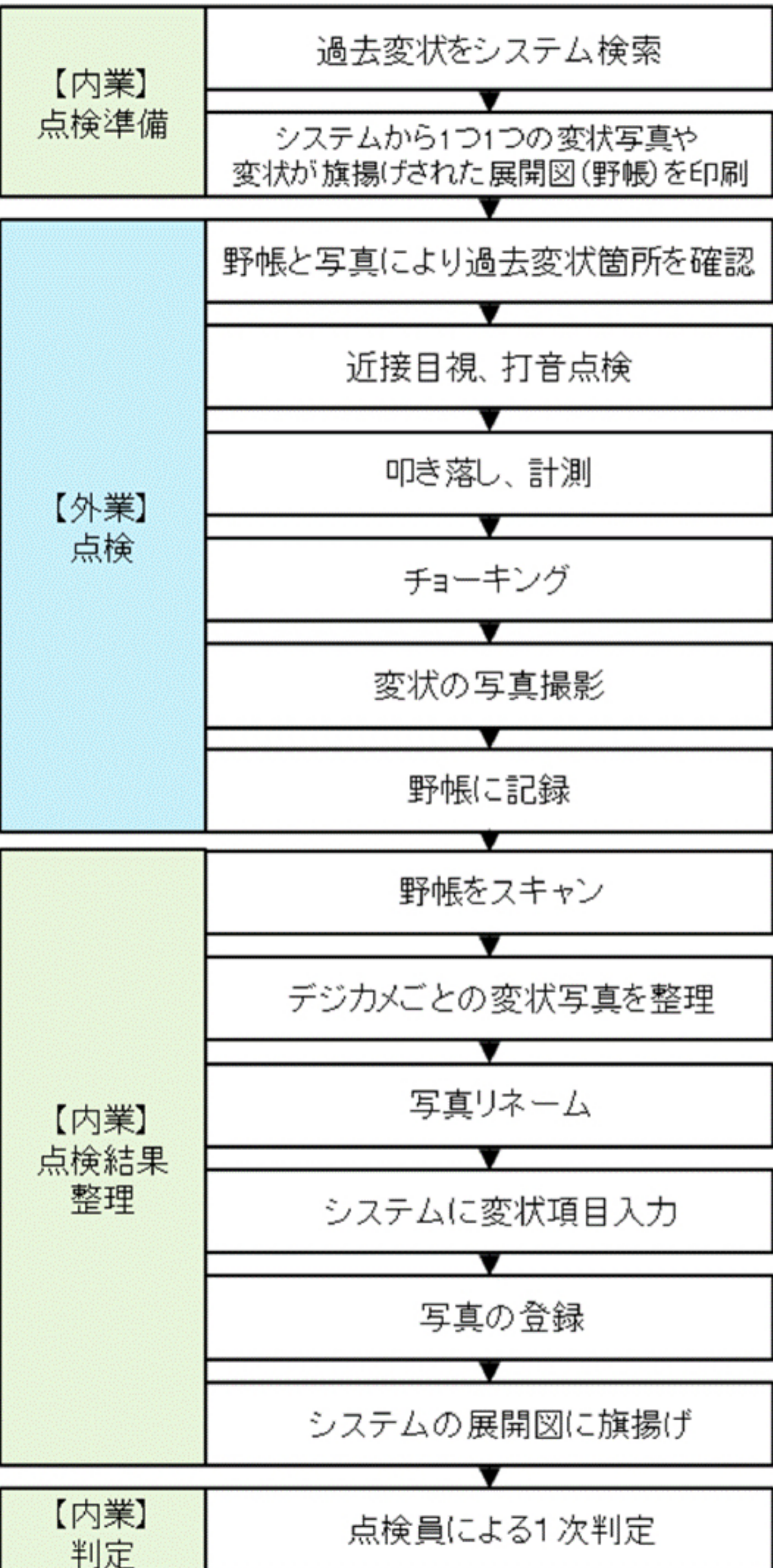


【現状業務】

【Points3D導入後】



・紙媒体ではなく電子化による事前準備  
 ⇒【生産性】準備に要する時間が短縮可能  
 ⇒【分析】3Dデータを次回点検で使用する際に、現状の展開図や点検報告書を確認する場合と比較し、同等以上の確認が可能

・写真撮影ではなく、動画で撮影しデータ保存  
 ⇒【操作性】3D化アプリのアップロード、閲覧、アノテーション付与といった操作は初見でもすぐに理解可能。  
 ⇒【機能性】キャプチャー・アノテーション作業は野帳記入を代替可能



※変状を記入すると入力順で番号が表示され  
 クリックすると変状内容が表示される。

・動画撮影及び自動3D化  
 ⇒【生産性】野帳スタイルに対して工程省略により報告書作成作業が約40時間削減可能(報告書作成作業)  
 約5分/件削減×約500件/月・事務所  
 = 約2500分削減